

報告2-1

行政と事業者が企画段階から話し合いを重ね、互いの力を
活かしながら地域に根差した施策や取組みを拡充

平成29年 6月22日 第1回
認知症地域支援体制推進全国合同セミナー
認知症介護研究・研修東京センター

それぞれの力を活かす地域づくり

～高齢者とその家族の安心をめざして～



霧島市保健福祉部長 寿・障害福祉課 池田 宏幸







↑市街地(国分)



↑中山間地域(霧島)



平成17年11月7日 合併
国分市、

溝辺町、横川町、牧園町、霧島町、隼人町、福山町
面積 603K m^2 (人口・面積＝鹿児島県2位)
鹿児島空港、駅(JR)11ヶ所、高速道路IC5ヶ所

- ・日本最初の国立公園「霧島・錦江湾国立公園」
- ・天孫降臨の神話
- ・約9500年前の定住遺跡「上野原遺跡」
- ・日本最初の新婚旅行(坂本龍馬)
- ・明治の木造駅舎(嘉例川駅・横川駅)
- ・先端産業の立地(ソニー、京セラ、トヨタ車体etc)
- ・温泉、黒牛、黒ブタ、黒酢、お茶、etc
- ・ジオパーク(地質遺産)国内登録

現状分析(人口・高齢化・特徴)

(29年4月30日現在:住民基本台帳)

地区名	人口(人)	内高齢者(人)	高齢化率(%)
霧島市	126,735	32,539	25.67
国分地区(旧国分市)	59,318	12,130	20.45
溝辺地区(旧溝辺町)	8,076	2,294	28.41
横川地区(旧横川町)	4,234	1,681	39.70
牧園地区(旧牧園町)	6,931	2,976	42.94
霧島地区(旧霧島町)	4,758	1,975	41.51
隼人地区(旧隼人町)	38,226	9,562	25.01
福山地区(旧福山町)	5,192	1,939	37.00



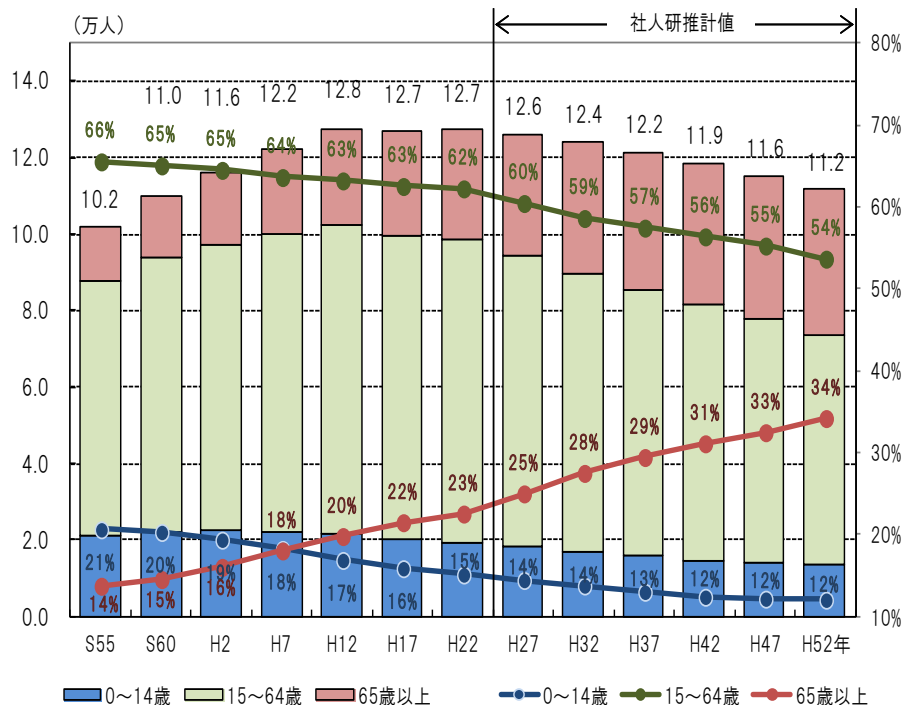
	前期高齢者	後期高齢者	合計
平成18年3月	13,535	13,957	27,492
平成29年3月	15,157	17,205	32,362

	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	計
H18.3	1,193		1,463	658	541	513	429	4,797
H29.3	907	856	1,311	968	749	843	700	6,334

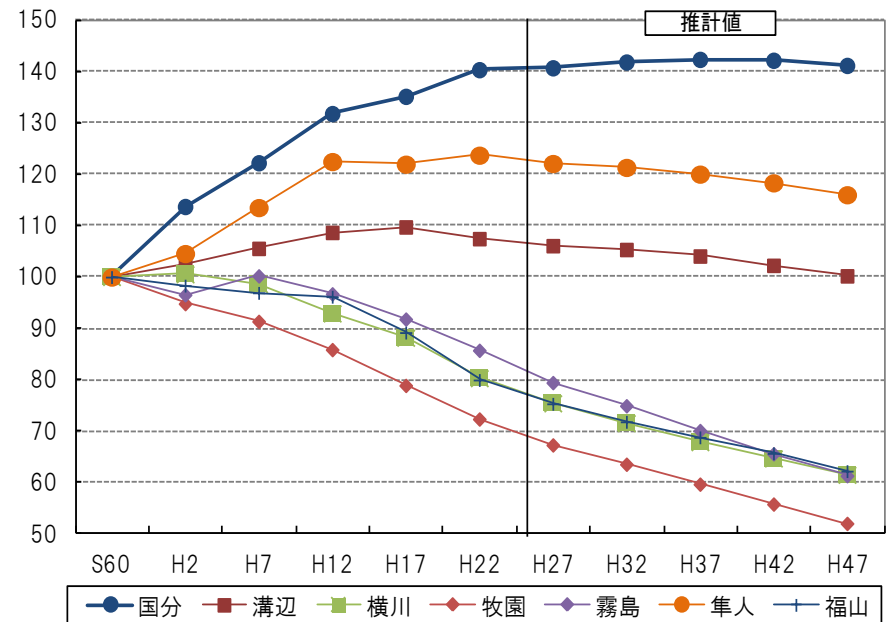
将来推計では

人口動態

- ✓ 人口は今後減少傾向（平成42年に11万人台に）
- ✓ 少子高齢化の進行（高齢化率33%/平成47年度）
- ✓ 地域によって状況が大きく異なる



※平成22年までは国勢調査。平成27年度以降は国立社会保障・人口問題研究所による推計値。



※昭和60年人口を100とした指数。

※平成22年までは国勢調査をもとに算出。平成27年度以降は推計値をもとに算出。

霧島市経営健全化計画(第2次改定)

平成18年から「将来にわたる健全財政の維持」を目標に計画を作って取り組んでいます。

計画の最終年度 = 平成33年度(予算編成時)

- 1 市債残高の縮減 ⇒ 527億円
- 2 基金の涵養 ⇒ 16億円
- 3 予算規模の適正化 ⇒ 468億円(一般財源311億円)

平成33年度で
財源不足を解消

取組成果

(平成27年度決算ベース)

- | | | | |
|---------|-------|----------|----------|
| 1 市債残高 | △16億円 | 目標=638億円 | 実績=622億円 |
| 2 基金の涵養 | +73億円 | 目標=88億円 | 実績=161億円 |

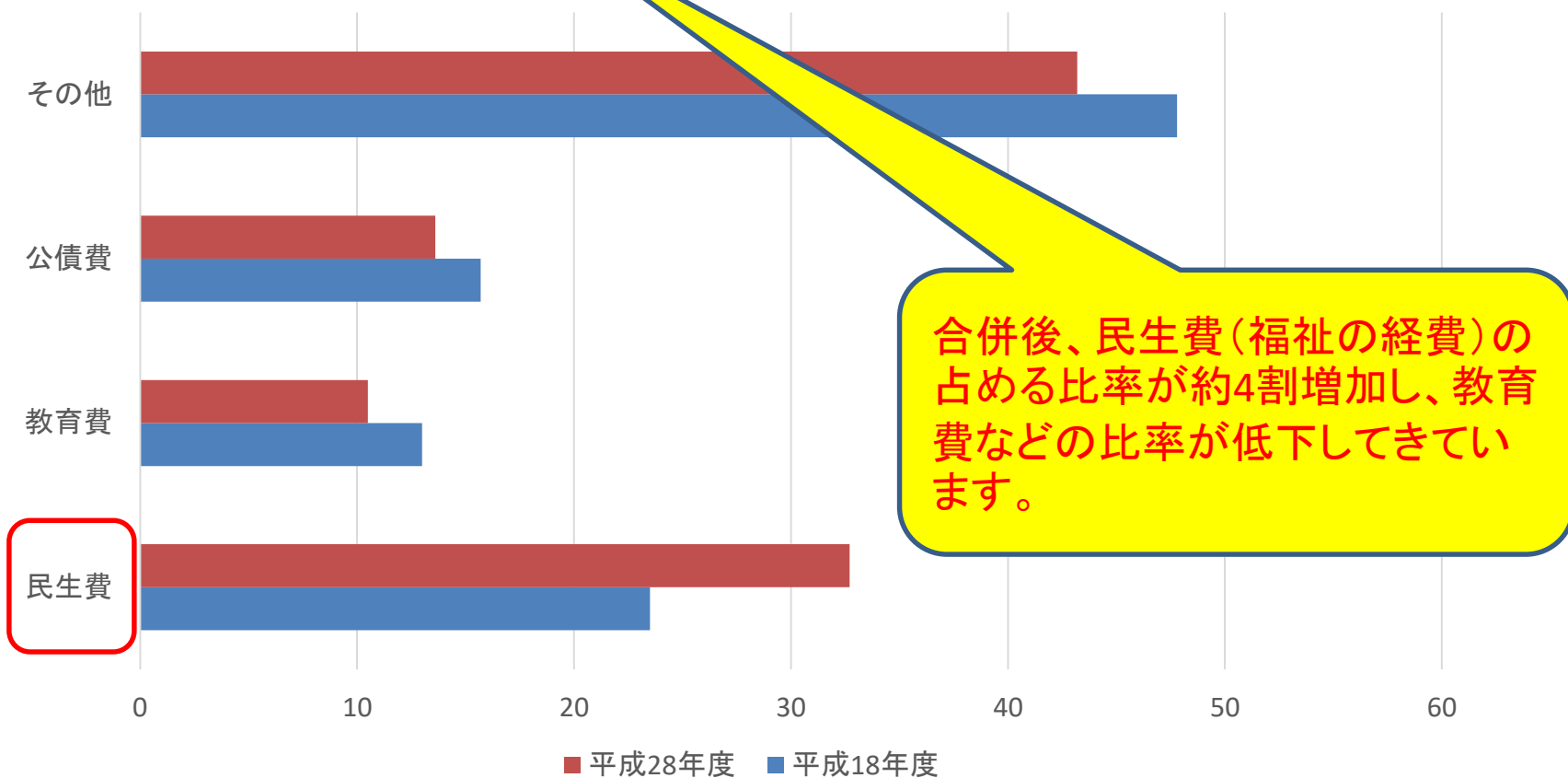
(平成28年度当初予算)

- | | | | |
|------------|-----------|----------|------------|
| 3 予算規模の適正化 | +35億円⇒未達成 | 目標=538億円 | 実績=572.5億円 |
| ※ 財源不足額 | | 目標=25億円 | 実績=24.9億円 |

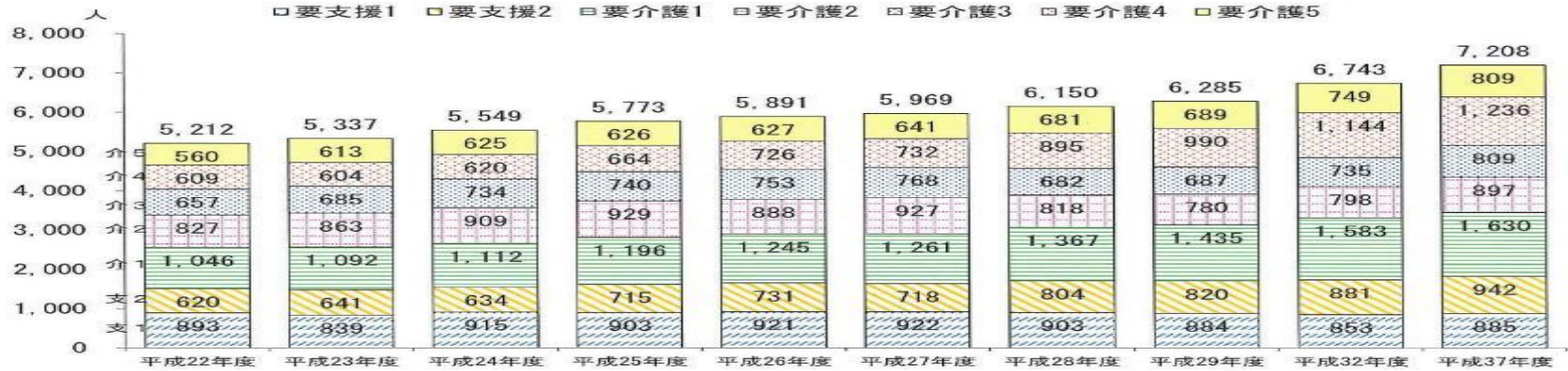
決算構成比の比較（目的別）

合併後の変化

	民生費	教育費	公債費	その他
平成18年度	23.5	13.0	15.7	47.8
平成27年度	32.7	10.5	13.6	43.2



要介護認定者数の推移



資料：H22～H26年度は、「霧島市統計書」より
 H27年度は、長寿・障害福祉課調べ（H27.4.1現在）
 H28・29・32・37年度は、「すこやか支えあいプラン2015」より
 要介護認定者：第1号・2号被保険者の要介護・要支援者認定者

★介護保険制度等の推移（平成18年度と平成27年度の比較）

◎高齢者人口：

平成18年度27,729人⇒ 27年度31,799人（各年度末：3月31日）

4,070人増（+11.5%）

◎要介護認定者数：

平成18年度4,797人⇒ 27年度5,966人（各年度末：3月31日）

1,169人増（+24.4%）

◎決算額（給付費＋地域支援事業）：

平成18年度約62億円⇒ 27年度95億円

33億円の増（+52.4%）

霧島市定員適正化計画(第2次改定)

平成30年4月1日における職員数の目標を、「1,110人」とし、職員の適正管理に取り組んでいます。

★職員数

平成28年4月1日現在:1,116人 ⇒ 累計で292人の減
(平成18年4月1日現在:1,408人)

★人件費

合併後、累計で約150億円の節減

	決算額 (億円)	対 17年度 (116億円)		決算額 (億円)	対 17年度 (116億円)
平成18年度	111	▲5	平成23年度	99	▲17
平成19年度	112	▲4	平成24年度	96	▲20
平成20年度	111	▲5	平成25年度	91	▲25
平成21年度	105	▲11	平成26年度	94	▲22
平成22年度	102	▲14	平成27年度	90	▲26

市職員の配置状況は？

(出典:総務省定員管理調査:平成28年度)

様式 2 中・小部門定員管理診断表

平成28年1月1日現在
住民基本台帳人口
126,966 人

類型	団体コード	都道府県名	市区町村名
市Ⅲ-1	462187	鹿児島県	霧島市

大部門	中部門	小部門	27.4.1	28.4.1	増減	29.4.1	増減	修正値 × 住基人口 10,000	超過数
			現在 職員数 A	現在 職員数 B		B-A			
議会	議会		8	8		8		8	
総務・ 企画	総務一般	総務一般	93	95	2	90	▲5	75	20
		会計出納	10	11	1	10	▲1	8	3
		管財	7	8	1	8		8	
		職員研修所							
		行政委員会	7	7		7		7	
	企画開発		13	14	1	14		17	▲3
	住民関連	住民関連一般	23	23		46	23	21	2
		防災	6	6		6		7	▲1
		広報広聴	7	8	1	10	2	6	2
		戸籍等窓口	30	28	▲2	29	1	30	▲2
県(市)民センター等施設		1	2	1	1	▲1	3	▲1	
その他				5	5				
税務	税務	62	61	▲1	60	▲1	53	8	
民生	民生	民生一般							
		福祉事務所	73	73		75	2	58	15
		児童相談所等							
		保育所	36	33	▲3	28	▲5	85	▲52
		老人福祉施設	9	5	▲4	5		6	▲1
		その他の社会福祉施設	1	1		1		13	▲12
		各種年金保険関係	12	12		12		4	8
		旧地域改善対策	1	1		1		2	▲1

互いの力を合わせて

1 行政がやること

- ・地域を俯瞰して、将来の地域の将来を描き誘導する

2 行政ができること

- ・制度づくり、ルールづくり、インセンティブ設定
コーディネートなど

1 事業者がやること

- ・サービスの提供

2 事業者ができること

- ・一人のひとの暮らしを支える

では、市役所に寄せられる相談は？

隣のひとり暮らしのおばあちゃんが認知症で...
近所のおじいちゃんがいつも汚れた格好で...



行政ができることは何がある？

アセスメントして、対策を考えて、事業者とのコーディネート

最終的に、本人に関わるのは事業者の方たち

Pass と Path

行政が提案したのはPass
出来上がったのはPath

平成22～28年度
広報・書き方講座 105回
参加者 1648人
包括保管 156件

私のアルバム

— やがてのために —



霧島市

霧島市地域包括支援センター

霧島市「私のアルバム」作成委員会

- 近隣の介護事業所
- 権利擁護センター
- 稚自体の人達
- 疾患利用センター
- 消防団
- 市役所
- 交番のお巡りさん
- 訪問看護

自分らしい暮らしと最期を、住み慣れた地域で！

民生委員

- 地区社協
- 地域包括センター
- 家族
- 小規模多機能
- 茶飲み仲間
- かかりつけ医
- 馴染みのお店

終末期

重度

認知症の度合い

軽度

認定

気づき

非認定

老人保健施設
特別養護老人ホーム
グループホーム

一般デイサービス
認知症対応型デイ
重度認知症デイケア
短期入所
小規模多機能
デイケア
ホームヘルプ

サロン
居場所
配食サービス
見守り

認知症専門医
専門医療機関
一般病院
認知症疾患医療センター
精神科病棟
認知症治療病棟

訪問看護
訪問リハビリ
薬局・かかりつけ医
訪問型認知症診療
サポート医
訪問型認知症診療

本人

家族・近所・商店

地域活動
での変化

友人・ご近所
からの話

生活の
変化

**認知症ケアパス
(私のアルバム)**
本人の思い・願い

こだわり
生き方
馴染み場所
好み
家族関係
など

市長村・地域包括
センターと連携・支援

家族からの話

日常的なつながりから出会う

伴走しながら支える

伴走者

地域活動に関わる

保健師、
認知症地域支援推進員
ライフサポートワーカー
認知症コーディネーター
認知症ケアパスコーディネーター
民生委員
ケアマネジャー
など

など

介護保険サービス利用



「私のアルバム」作成委員会(市・県・包括・家族会・小規模・認知デイ・GH・居宅・疾患Cなど)

地域を支える三層構造

ライフサポートワーカー(118人)

まちかど介護相談所(地域密着事業所)91カ所=包括ブランチ

包括(支所)=社福等

包括(本所)
(市中心部)
市社協

サブセンター
(10カ所)

日常生活圏域

身近な地域

身近に質の高い相談ができる「安心」の提供

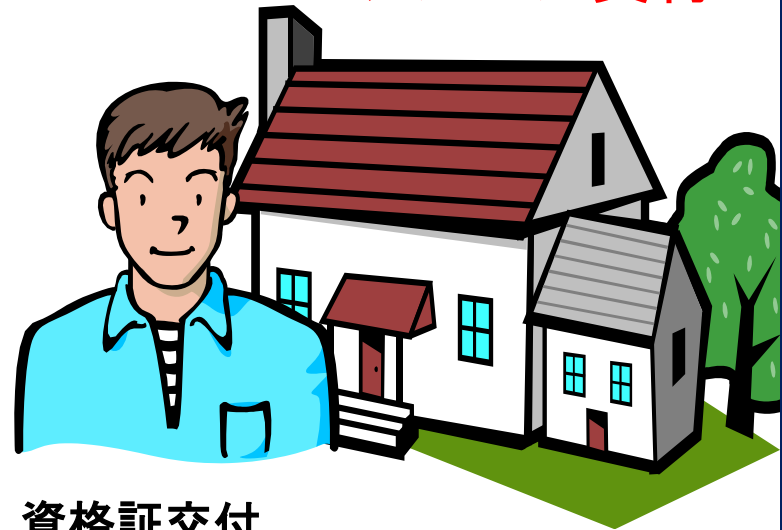
霧島市地域包括ケアライフサポートワーカー

加賀市+大牟田市(まねて)÷3ぐらい

狙い

- ・資質向上(6か月間8回の研修)
- ・地域の相談拠点
- ・地域づくりの拠点化
- ・地域包括のランチ
- ・地域福祉のキーパーソン
- ・地域密着事業所の差別化

研修終了 → ライフサポートワーカー → 市認定の介護相談所
(市認定資格) **カンバン交付**



資格証交付

ライフサポートワーカー

カンバン交付

霧島市まちかど介護相談所
共生ホーム 国分の杜

まちかど 介護相談所



地域包括ケアを目指して

- 1 無いものねだりをせずにあるものを活かす
 - ・目の前の資源を生かそう
 - ・イメージ図のような地域は多くない
- 2 役所だけ、事業者だけが無理をせず、一緒にやっていく
 - ・事業者は大切なパートナー（プロを信じて任せる）
- 3 初めから目標は高く掲げない
 - ・できることは限られている
 - ・早く手を付けることが大事

今回の計画策定について

●前回の計画策定をふまえて

市職員、専門職(事業者)、市民等の協働で策定したため、内容の濃い計画が完成している。

市職員と事業者(専門職)にギャップがあった。



計画策定時のギャップが計画実行に影響を与えている。

●今回の計画策定作業の手法(案)

- 1 専門職や市民の考えや意見を汲み取る新たな仕組み。(イベント)
- 2 市職員、専門職、市民で将来の理想像と実現意欲を共有できる仕組み。(対話型の計画策定)
- 3 共生型社会をめざして、他の計画を意識した計画策定。



FUJICOLOR FUJICOLOR FUJICOLOR

日本一の人物像
西郷隆盛像
西郷公園